

7

たいせきがん  
地層と堆積岩について、次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 次の文は、地層のでき方について説明したものです。文中の□にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

地表に出てる岩石は、気温の変化や雨などのはたらきによって長い時間をかけてもろくなり、くずれしていく。このような現象を①という。もろくなった岩石は、雨や流水のはたらきで削りとられる。このはたらきを②という。削りとられた土砂は、流水によって運搬され、海底などに堆積する。その後、長い年月をかけて地層ができる。

- (2) 右の図は、ある地域に見られた地層を観察して、模式的に表したものです。これについて次の各問い合わせに答えなさい。ただし、この地層は水平に積み重なり、上下の逆転は起こっていません。また、河口から海に流れ込んで堆積してきたことがわかっています。

- ① 次の文は、図のA層、B層、C層の重なり方をもとに、この地域の環境の変化について説明したものです。文中の□にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

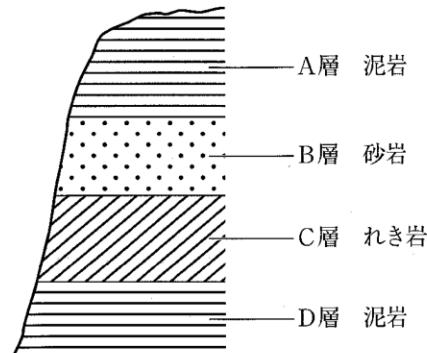
A層、B層、C層は、上の地層をつくる岩石ほど粒がa{ア 小さい イ 大きい}。よって、この地域は河口からの距離が、だいにb{ア 近く イ 遠く}なったと考えられる。

- ② 図のC層には、石灰岩とチャートのれきが含まれていました。次の文は、これらを判別する方法を説明したものです。文中の□にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

2つのれきをこすり合わせて、傷のついた方がa{ア 石灰岩 イ チャート}である。また、うすい塩酸をかけてあわが発生したほうがb{ア 石灰岩 イ チャート}である。

- ③ 図のD層にはアンモナイトの化石が見つかりました。このことから、D層が堆積した年代が推定できます。aこのような化石を何といいますか。名称を答えなさい。また、次のうち、bD層よりさらに下の層で見つかる可能性のある化石として、考えられるものはどれですか。すべて選び、記号で答えなさい。

ア サンヨウチュウ イ ビカリア ウ ナウマンゾウ エ フズリナ



- (2) ① れき、砂、泥の順に、粒の大きいものほど河口付近の浅いところに、粒の小さいものほど河口から離れた深いところに堆積します。

- ③ サンヨウチュウ、フズリナは古生代、アンモナイトは中生代、ビカリア、ナウマンゾウは新生代の示準化石です。D層で見つかったアンモナイトは中生代の示準化石なので、D層より下で見つかる可能性があるのは中生代を含む、より古い年代の化石です。

	①	ふうか <b>風化</b>			
(1)	②	しんしき <b>侵食</b>			
(2)	①	a	ア	b	イ
	②	a	ア	b	ア
(3)	①	a	し	じゅん	か せき <b>示準化石</b>
	②	完答。	b	ア	は順不同。